

生協の取り組みは組合員の声でできている

吉田食堂に新入生が続々と集結。今年の新学期活動の中で「参加者」だった新入生に参加者目線の感想をぶっちゃけてもらいました！

活動概要

- ◆ 日時：5月22日(火)18:30~20:00
- ◆ 場所：京都大学生協吉田食堂
- ◆ 対象：京都大学の新生（一般）
- ◆ 運営：生協職員12名+学生委員9名
- ◆ 目的：①新入生の受け止めを知る
②ネガティブ意見のヒヤリング



POINT.1

新入生の実感が次の新入生を支えます



「新入生のころの苦労や不安、状況は3か月もすれば忘れます」。中島専務の挨拶から始まったヒヤリングは、班に分かれてワークショップ形式で行われました。

各班に生協職員と学生委員が一人ずつ入り、新入生のこの時期だからこそ話せる生の声を直接聞き取りました。 来年の新入生のための準備を 組合員みんなで備える 取り組みと言えます。

新学期の様々な取り組みに関して「利用した理由」「その感想」「利用しなかった理由」「どうすれば利用したか」が、学生委員や生協職員のフレンドリーなファシリテートで積極的に出されました。参加した学生からは「なんか楽しかった」という声も聞こえてきました。

POINT.2

参加者の今後の参加にもつなげます

参加者に配られたのは京大生協とつながりの深い居村屋のサンドイッチや京都市だいで学園のドーナツ、大学生協(大山)牛乳など。若手職員の口から、お店の商品をはじめ 組合員の声で生協が変わることも合わせて伝えられました。

また 参加者52名のうち38名もの参加者が新学期の 学生アドバイザーへ興味を示しています！



[ともしつくる]
×
[新学期]



京都大学生協
新入生ヒヤリング



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [四方 遼祐]
shikata.rs@fc.univcoop.or.jp